

安瀬美兼さんの仕事

安瀬美兼さんは大安場古墳がある郡山市田村町大善寺の生まれで、今年の11月に卒寿(90歳)を迎えられます。小学生のころから遺跡に興味を持ち、近所の弘法壇古墳(大善寺3号墳)から埴輪片を採取していました。成人し、農業に従事してからも、畑作業のときに見つけた土器片や石器から、ご自身と同じ地域に暮らしていた祖先の姿を思い浮かべ、楽しんでいたと伺いました。考古学とともに趣味にしていたのが狩猟で、20代から山野に獲物を探したようですが、ある日、愛犬“エス”が古墳の下にある防空壕の凹みを掘り始めました。「ウサギの巣穴?」と見ていたら、掘りだした土の中に土器片があるのに気づきました。今から30~40年前のことです。

これは“エス”の大発見でした。安瀬さんも参加された平成8年からの調査で、大安場古墳の上は壺で飾られていたことが確認されましたが、“エス”の土器もその一部だったからです。

愛犬が見つけた土器は「安瀬コレクション」の主役ですが、これ以外にも神明神社(大善寺2号墳)や冠者古墳(大善寺4号墳)の埴輪、狐壇古墳で発見した首飾り、中山田古墳群の勾玉、大善寺の畑から採取した縄文などを大切に保管されています。

最近、少し脚が痛いと感じていますが、まだまだお元気で、車も運転されています。白い軽トラックで、運転席の後ろに自作の木彫りの土偶があったなら、そのドライバーは間違いなく、大安場古墳と大善寺の歴史解明に貢献された安瀬美兼さん、その人です。



安瀬美兼さん
大安場史跡公園にて
平成20年5月24日撮影



愛犬“エス” 犬種:セッター

安瀬美兼コレクション



写真①
狐壇古墳で発見した首飾り

写真②
縄文時代の万能ナイフ
「縦長石匙」



写真③
中山田古墳
などから採集した
“勾玉”など



大安場古墳発掘スタッフとの
思い出の1枚 平成8年撮影



安瀬さんは手先が器用
陶芸や木彫で、大好きな土偶や採取した
破片から円筒埴輪を復元



愛犬“エス”の発掘場所と
1600年前の壺の破片



安瀬宅からは大安場古墳が
よく見える

はじめに

大安場古墳が発見されたのは、平成3年春のことです。地元の遺跡に詳しい安瀬美兼さんが、(財)郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団の柳沼賢治さんを案内したことに始まります。今から25年前のことです。

大安場古墳に葬られた人物は、大善寺の西側に広がる豊かな耕地を基盤に、地域をリードした首長と考えられています。この人物の役割は、祭器の性格が強い腕輪形石製品が副葬されていたことから、司祭者のような役割を担っていた可能性が高いようです。

古墳の形が前方後方墳であった理由は難しい問題ですが、発見から25周年の節目にあたる本展示会は、これまで示された大安場古墳に対する考えや可能性を整理し、課題をあきらかにするため企画しました。

※現在は公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社 文化財センターと改称



大安場古墳から発見された副葬品「石釧」

平成27年度 大安場史跡公園 第2回企画展

古墳発見25周年記念

大安場古墳の世界

平成27年度 大安場史跡公園 第2回企画展 古墳発見25周年記念「大安場古墳の世界」

会期：平成27年10月31日(土)▶12月13日(日) 会場：大安場史跡公園ガイダンス施設

主催：郡山市/郡山市教育委員会/大安場史跡公園管理センター(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

協力：福島県教育委員会/伊達市教育委員会/会津坂下町教育委員会/大玉村教育委員会/福島県立博物館/福島県文化財センター-白河館/須賀川市立博物館/須賀川市歴史民俗資料館/円寿寺/安瀬美兼/大竹憲治/吉田博行(順不同・敬称略)

大安場史跡公園管理センター(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

〒963-1161 福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地 TEL.024(965)1088 FAX.024(965)1090

E-Mail oyasuba@bunka-manabi.or.jp Web http://www.bunka-manabi.or.jp/oyasuba



この印刷物は、FSC®認証紙を使用しています。 紙リサイクル可

大安場古墳の位置づけと可能性

古墳の秩序

古墳の代表的な形は、前方後円墳・前方後方墳・円墳・方墳の4種類で、埋葬された人物の社会的地位が古墳の形や大きさに反映されています。3世紀中ごろから造られ始める前方後円墳には大和政権と関係する地方の有力首長が葬られ、東海地方で出現し、3~4世紀に盛んに造られた前方後方墳には、これに次ぐ首長が埋葬されたと考えられています。



古墳のランキング ※「古墳時代の研究7」都出比呂志「古墳の型式」を元に作成



(伝)二子塚古墳出土勾玉
左:長さ4.3cmでヒスイ製
右:長さ3.0cm

(伝)大槻町出土銅鏃
左:長さ6.8cm 右:長さ5.9cm

銅鏃は儀式用の矢先につけるヤジリで、ヒスイ製の勾玉とともに、東北では会津大塚山古墳しか発見されていない権威をあらわす遺品

東北~栃木県北部の古墳造営は、初期から前方後円墳が造られる地域と、前方後方墳から始まる地域とがあり、4世紀前半ごろは前方後方墳の割合が高くなるようです。4世紀後半になると古墳は大型化し、前方後円墳が優勢となります。栃木県北部や宮城県名取市など、前方後方墳に終始する地域もあり、同様ではありませんが、4世紀末になると古墳造営は低調となります。このような状況の中、大安場古墳は古墳が大型化する4世紀後半に、少数派の前方後方墳の形が採用され、築造されました。

東北~栃木県北部の古墳編年

※(カッコ)内は大きさをメートルで表記

西暦	時期区分	古墳編年	福島県			宮城県	山形県	栃木県北部
			中通り	会津	浜通り			
250	古墳時代前期	1		飯盛山(60)	杵ガ森(46)			駒形大塚(61)
300		2	仲ノ平6号(26)	傾城壇(42)	白ヶ森(50)	千塚山(85)	天神森(74)	
		3	正面35号(37)	二子塚(53)	天神堂	本屋敷1号(36)	宮山(73)	上侍塚北
350	4		会津大塚山(114)	虚空蔵森	雷神山	堂の森(57)	宝鏡塚(70)	下侍塚(84)
		5	大安場(83)	二子塚(51)	田中舟塚山	鏡守森(55)	龜ヶ森(127)	灰塚山(61)
400	中期							

『古墳時代の考古学2』藤沢 敦「東北の主要古墳の変遷」、栃木県立なす風土記の丘資料館「われ、西より来たりて 那須の地を治める!」を元に一部改変して作成。
※中通り・二子塚古墳の年代は、古墳から採取した土器に新旧両段階があるので、ここに仮置きした。

大安場古墳の位置づけ

形と大きさ、造られた年代、副葬品などが古墳を考えるときに重要な要素となります。考古学では、内容が似たもの、そして異なるものを比較し、検討していきますが、何を中心に置くかによって意見が異なることが多々あります。実は、大安場古墳が造られた理由についても同じです。古墳の西に広がる肥沃な耕地と、近くの高台に暮らした人びとに

よって築かれたとの考えは一致していますが、それ以外は諸説があり定まっていません。その主なものを図表にまとめました。「大安場史跡公園 歴史講演会」で、講演いただいた講師先生方のコメントも掲載しました。読み込んでいただき、大安場古墳の謎解きにご参加ください。

仮説		課題等
A案	地域内成長説	阿武隈川東岸にある4基の前方後方墳は時期が新しくなるほど大きくなるので、首長権が拡大するなかで大安場古墳が造られ、やがて須賀川市団子山古墳(前方後円墳の可能性ある)に移ったのでは?
B案	権力移動説	古い時期の古墳が大玉村にみられるが、大安場古墳と同じ時期のものがないことから、首長権が安達から田村に移動したのでは?
C案	大槻町に前方後円墳説	大槻町出土と伝えられている銅鏃が2点あるので、大安場古墳よりも上位ランクの前方後円墳が大槻町近辺にあったのでは?

学識者6人の見解

※講演会の聴講メモから抜粋したものです。

大安場史跡公園では毎年1回「歴史講演会」を開き、古墳学をリードしている研究者の方々から、大安場古墳の見解を伺っています。

1.

大塚 初重 先生

(明治大学名誉教授)

平成21年8月講演

大安場古墳の…

- ①腕輪形石製品がどこからプレゼントされたのかは、難しい問題だ。
- ②地域の歴史的構成が、古墳の形を決める。
- ③東北では、出現前に前方後方墳が多い。

2.

(故)甘粕 健 先生

(新潟大学名誉教授)

平成22年11月講演

大安場古墳は…

- ①複数の小地域を統合した首長の墓だ。
- ②栃木県那須地方の前方後方墳と関係が深そうだ。
- ③副葬品の中に中位ランクの腕飾りがある。

3.

赤塚 次郎 先生

(愛知県埋蔵文化財センター副センター長)

平成23年11月講演

大安場古墳は…

- ①大和政権と関係していない。
- ②古墳の形は被葬者の出自による。
- ③古墳を飾っていた壺が2種類なので、2~3地域によって支えられていたことがわかる。

4.

藤澤 敦 先生

(東北大学博物館教授)

平成25年3月講演

大安場古墳は…

- ①中通りで最大の古墳だ。
- ②古墳前期の末に、中通りで重要な役割を果たした人物の墓だ。
- ③政治的につながりを持つ上位の人(関東地方の有力者)によって造営された。

5.

伊藤 玄三 先生

(法政大学名誉教授)

平成25年12月講演

大安場古墳は…

- ①木棺の長さや副葬品から、男女2体の埋葬が考えられる。
- ②儀式用の銅鏃や装身具の玉類が副葬されていない。

6.

石野 博信 先生

(兵庫県立考古博物館長)

平成27年3月講演

大安場古墳は…

- ①広い範囲の人々が拝める、見通しの良い丘の上に造られている。
- ②立派な古墳なのに、鏡が出ていない。